英語で日記を書こう

☆ねらい

　「事実」と「感じたこと」を組み合わせて４文以上の日記を書くことができる。

☆扱う場面

　・学年　２年

・be動詞の過去形を学習した後の自己表現活動

　・授業の最初の５分の帯活動として数人ごと発表させることも可能

　・所要時間　作成時間：作成時間20分～30分程度 　添削：人数による

☆指導の手順と留意事項

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
| ① worksheetを使い、2つの例文  の英語日記を読む。 | ・AパターンとBパターンの例文を読み、どのような内  　容が書かれているか確認をする。  ・一度音読をさせる。 |
| ② vocabulary sheetを読む。 | ・単語の確認：単語の音読練習をする。 |
| ③ 例文を参考に、Aパターンか  　 Bパターンのどちらの日記の書き方にするかを決める。 | ・初めて英語日記を書く時は、内容を決めるのに時間がかかるため、パターンを決めさせておく。 |
| ④ それぞれの例文を参考に4文以上の英文で日記を書く。 | ・例文のパターンとvocabulary sheetを参考にしながら、英文を作成していく。  ・**時制（動詞）を過去形にするよう注意を呼び掛ける**  （規則動詞/不規則動詞の注意）  ・書きたい内容がvocabulary worksheetの中にない場  　合は辞書を使う。  ・英作文を得意とする生徒は例文パターン＋αで作成を  進めさせる。 |
| ⑤ 教師の添削を受ける。 | ・教師が、生徒の英作文での時制、規則動詞/不規則動  　詞の使い方、スペルミスの確認をしていく。 |
| （⑥　ペアやグループ、または  全員の前で発表する。） |  |